

公開保育のご意見、ご感想を受けて

<A. 環境>

住宅地の中にある本園では、草木や動物、虫など自然に触れる機会を持ちにくいので、少しでも緑を多くできる様に配慮している所を感じて頂けた様で嬉しいです。隅々まで行き届いた環境設定や保育室の備品の充実と整理整頓がされているとのご意見も頂き、子ども達の為に良き環境を維持していける様に引き続き努めて行きたいと思えます。各保育室の窓の絵については、皆さんに何を使って描いているのかなど、よく質問されるのですが、普通に子ども達が使っているポスターカラーです。水とスポンジを使えば簡単に消せるので、2ヶ月に一度描き変えており、子ども達も楽しみにしてくれています。

<B. 朝の自由遊び>

公開保育では、朝の外遊びの見学でしたが、毎日朝と昼、バスに乗るまでの待ち時間も外で遊んでいます。やはり健康が基本です。一年中、雨の日以外は、毎日外遊びをしていることに驚かれた先生がいらっしゃいましたが、私たちにとっては、ごくごく自然なことで体を十分に動かして遊ぶ時と設定保育に集中して取り組む時のけじめを大切にしています。毎日の遊びの中での積み重ねによって、跳び箱や鉄棒など、出来る事が増えてくると自信を持ち、更に次に挑戦しようとする意欲が湧いてきます。そして、脳の成長の観点からも幼児期の全身運動は、感情をコントロールする意志力や心の発達を促す可能性を大いに秘めているそうです。先生達も雨上がりには遊具を拭いて、その時間を大切にしてくれています。ケガを恐れて外遊びをあまりされない幼稚園があると聞きますが、保護者の方のご理解も頂きながら、これからも外遊びは大切にしていきたいと思っています。

<C. 設定保育>

多くの先生から、子ども達が保育に集中していた、担任が子どもの意見や気持ちを大切に、丁寧に指導されていたなどの嬉しいご意見を頂きました。子どもの気持ちを大切にしながら保育を進めていく事は容易ではありませんが、本園では5年以上の経験者も多い為、子どもと同様に経験の積み重ねによる指導力の向上があるのだと思います。経験者が多いのは、中途採用かという質問もありましたが、経験者の採用も時にあります。しかし、就職してから5年以上勤務する職員がほとんどで、10年、20年と本園で経験を積んでいる先生もいます。その中でより良い保育者となる様に、若い先生は先輩の先生をお手本に学び、先輩は後輩に教える。特に、5月、6月と11月には研究保育を行って、お互いの保育の見直しもしています。まだまだ未熟な点がありますが、今後も子ども達の為に切磋琢磨していきます。

<D. 子どもの様子>

子ども達がのびのび楽しく活動している事とメリハリ、けじめを感じたというご意見が多かったですが、正に本園が目指している教育が子ども達に現れているとプロの先生方に認めて頂いた様で本当に嬉しいです。これを継続していける様に慢心せずに取り組んでいきます。

＜E. 先生の様子＞

挨拶がきちんと出来て言葉遣いや笑顔が良かったというご意見とは反対に、先生の言葉が「です、ます」調でない為に、友達っぽく、少し乱暴に聞こえたというご指摘も受けました。言葉遣いはきつい大阪弁にならない様に注意をしている所ですが、時に意識の低い職員がいるのだとすれば改善して行きます。只、私たちは子どもに話しをする時に必ず「です、ます」調にはしていません。これもそれぞれの園の考え方なのだと思います。そして、ピアノが上手だと言って頂きましたが、苦手な先生もいますので、継続してレッスンを受けて努力しています。

その他にも色々な疑問点にお答えしていきます…

Q.先生方が大きな声(怒鳴り声)を出していないのに、子ども達の集中力があるのはなぜ？

→子ども達の興味を引き付ける内容と指導の工夫、話し方で日々保育を重ねて行くと大きな声を出さなくても集中して取り組んでくれます。

Q.設定保育の余裕度ときっちりとした朝の集まりの差は意図的なものか？

→伸び伸びと活動する時ときちんと整列する時のけじめを考えて、意図的に変化させています。保育者が普段から意識して行動していると子ども達にもその動きが反映されていきます。

Q.早朝保育と延長保育は、どれくらいしているのか？

→早朝保育は行っていません。延長保育は5時までです。また、夏、冬、春休みの預かり保育も実施していません。

Q. 水筒は持って来ないのか？

→6月～10月までは水筒を持参してもらっていますが、園でも常にお茶は用意しています。

Q. テレビの使い方は？

→保育時間に教育番組を見る事はありません。命を守る地震や交通安全などのDVDや子どもが大好きなアンパンマン等のDVDを活用しています。又、発表会のDVDを見て期待を高めていく事があります。

Q.クラスによって違う活動をしているが、毎日のスケジュールは？

→学年毎にその時々でやるべきカリキュラムは統一していますが、毎日全クラスが同じ内容の保育をしていません。日々の指導内容が決まっていると自分自身で考える手間は省けますが、自分がやってみたい保育を展開できないと面白さが湧かないと考えています。行事前の練習では、時間割を作っていて、その合間にも色々な保育を取り入れて、出来るだけ偏りのない様に進めています。

Q.他にどんなカリキュラムがあるのか？

→公開保育で15クラスの様子を見て頂きましたが、ほぼ全ての保育内容を実施してみました。劇遊びも2月の発表会に向けて、声を出す経験になっていますし、ピアノも年少児から少しずつ触れています。一つ一つの活動は、単発的に終わるものではなく、先を見据えて段階を踏んで計画的に取り組んでいる為、行事の時になって慌てる事はありません。

Q.絵画についての質問色々

→先生が見本を描いているので同じ様に描いている子が多いという意見と、その正反対に同じ絵にならず個性が出ていたという意見がありました。人それぞれに感じ方の異なるのがおもしろい所です。まず年少児は描く事になれる為に担任からの助言も多く、同じ様な絵だと感じられたのではないかと思います。描くという事が好きになる様に経験を積んでおくと年中や年長になった時に子ども達の自由な発想が出やすくなります。絵画は答えが一つではないので、指導は難しいですが、絵画指導の専門講師からの指導も受けながら研鑽を積んでいます。

Q.どの様なカリキュラムで音楽指導を行っているのか？

→子ども達がリズム感、音感、歌唱力などを身に付けられる様に、音楽指導の専門講師の指導の下、各担任が指導を行っています。定期的にその成果を専門講師に見てもらい、出来ていない点の指摘を受け、そこを意識しながら指導を重ねます。

◎園児数が多いが、保護者との連携のやり方は？

→全体の園児数が多いと言っても、1クラスの人数は大きく変わらないと思います。子ども達が“元気に登園し、元気に帰る”事を基本としていますが、ケガであったり、発熱等の場合には、状況を的確に伝え、保護者の気持ちになって、最良の選択を取る様に全員が心掛けています。そして、日々の園生活で気になった事は、必ず電話で伝える様にしています。徒歩通園児が100名程いるので、直接お話しする事も出来ます。年少児のみ連絡ノートを活用していますが、書く事よりも、極力電話をして、相手の声を聞く様にしています。また、5月と11月の保育参観後に学級懇談会を実施し、7月と12月には個人懇談会を行って、信頼関係を深められる様に努めています。